

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	愛媛県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	八幡浜市立千丈小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数 14
学級数	1	2	1	1	1	1	1	8	
児童数	29	41	39	33	37	35	1	215	

研究の概要

1. 研究主題

自分のめあてをもち、主体的に活動する児童の育成 楽しさと充実感のある算数学習

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

第3学年～第6学年 算数 （単学級で多人数のため、平成14年度から少人数指導を導入した学年であり、 また、算数科は、知識・理解と興味・関心の両面において、個人差の大きい教科であるから）

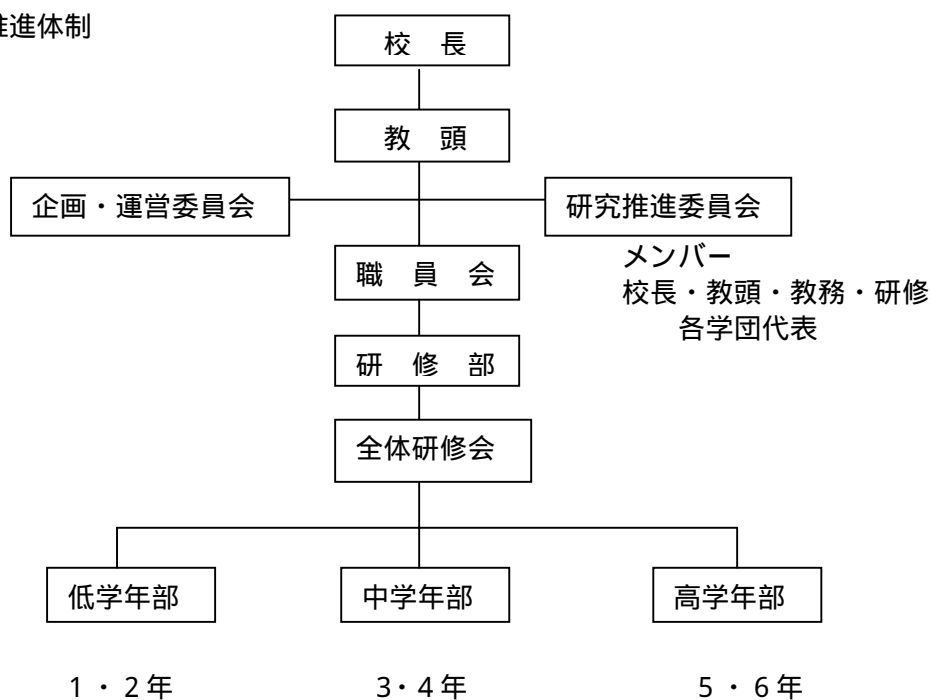
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	テーマ 自分のめあてをもち、主体的に活動する児童の育成 仮説 個に応じたきめ細かな指導を進め、学ぶことの楽しさを体験させることで、基礎・基本や自ら学び自ら考える力を身に付け、意欲的に活動する児童が育つであろう。 研究内容・方法 1 個に応じた指導のあり方 少人数授業によるきめ細かな指導の工夫 発展的な学習や補足的な学習の工夫 2 楽しく分かる算数学習のあり方 問題場面の工夫や教材・教具の開発、活用方法の研究 「分かる」「できる」ための算数的活動の充実 3 指導の改善につながる評価のあり方 評価規準の作成と多様な評価方法の研究
--------	---

平成 15 年度	<p>テーマ 自分のめあてをもち、主体的に活動する児童の育成</p> <p>仮説 個に応じた指導のための指導方法・指導体制を工夫し、さらに楽しく分かる学習を展開することで、基礎・基本や自ら学び自ら考える力をもち、意欲的・主体的に活動する児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 一人一人が楽しく学ぶための指導方法・指導体制の工夫・改善 習熟の程度に応じた指導方法の工夫 発展的な学習や補足的な学習の充実 個に応じた算数的活動の充実 2 指導と評価の一体化の工夫 評価規準の見直しとその活用法の研究
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 自分のめあてをもち、主体的に活動する児童の育成</p> <p>仮説 理解や習熟の程度に応じた指導方法を工夫するなど、個に応じたきめ細かな指導をさらに充実させることで、自分なりのめあてをもち、主体的に活動する児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理解や習熟の程度に応じた指導方法・指導体制の工夫・改善 個に応じた指導のための教材開発や指導方法・指導体制の工夫 指導に生かす評価の工夫 2 学校・家庭・地域社会との連携と他校への発信 実践研究成果の他校への発信の工夫
----------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

(1) 一人一人が楽しく学ぶための指導方法・指導体制の工夫・改善

今年度から1クラスを学担と2名の少人数指導教員が受け持ち算数の授業を行っている。少人数指導を実施するに当たり、担当教師間で、基本的な学習過程や指導方法について共通理解を図り、細かな打合せを行うようにしている。学級編成については、学校や児童の実態を考慮し、原則として等質に分けているが、「数と計算」領域では児童の習熟の程度に応じた指導を取り入れ、より少人数指導のよさを生かせるようにしている。

習熟の程度に応じた少人数学習においては、がんばりカードを児童にもたせ、小単元が終わるごとに、感想を書くようにした。コース選択時に持たせて、1単元終わるまで自分の授業の進み具合をみながら授業を進めている。単元全体で今の学習がどの段階なのかを知ることでもでき、主体的に学習を進めさせる手立ての1つとなっている。授業を通しての疑問点や、よく分かった点を書くことで、児童自身の振り返りになると同時に、指導する側の反省にもなっている。

算数がんばりカード 3年()

たんげんめい 単元名	たし算とひき算の筆算		
きぼう 希望コース	チャレンジコース	かくじつコース	じっくりコース (先生に)おまかせコース
けつてい 決定コース	チャレンジ	かくじつ	じっくり
しょうたんげん 小単元	勉強した日	分かったことや感想・質問したいことなどを書きましょう。	
1 何百のたし算 とひき算	3 4		

(2) 指導と評価の一体化

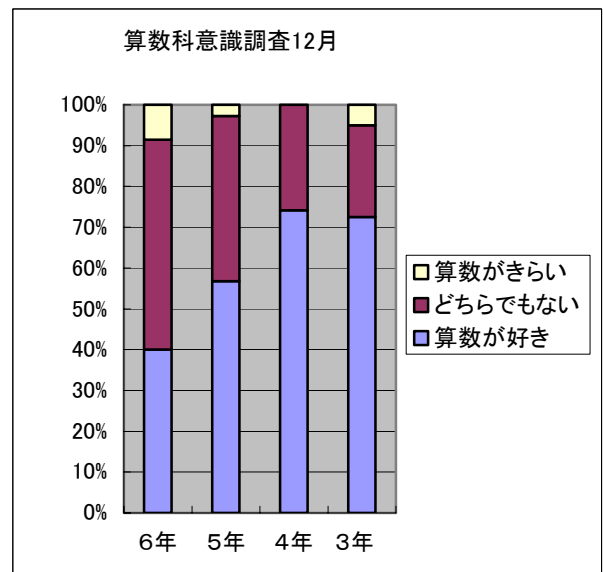
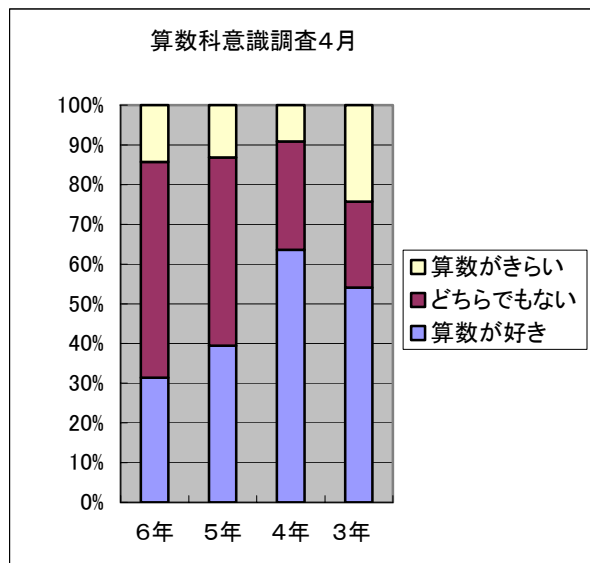
ノート指導を継続することで、全員の考えを把握することができ、評価にも取り入れることができている。発展的、補足的な学習に取り組ませるための資料にもなっている。

とくに、単元終了時には児童に単元全体の学習の「振り返り(感想)」を書かせており、「分かった」という意識を児童自身にしっかりとめ、自信をつけさせたいと考えた。「分からない」という感想が出てきた場合は、教師の言葉掛けにより次単元への取り組み方を考えさせたり、復習することの呼び掛けと、そのためのプリントなどの準備をしたりすることができた。

また、評価規準表をもとに、少人数指導教員が評価表を作り、それを使って、少人数の授業の時の評価を行った。1時間の授業の中での観点を1ないし2項目を決めて評価し、1単元終了後、それぞれの担当の教員が3クラス分の評価をまとめ、集約しておく。それを累積することで、学期末や学年末の評価につなげていくことができると思う。

また、単元の途中であっても、打ち合わせの時間などに児童の様子などを話し合うことで、授業中だけでは十分に力をつけることができない児童に対しては、放課後の個別学習などにつなげていくことができた。

- (3) 算数学習に対する意識と意欲の向上
 昨年同様に、楽しく分かる算数学習に取り組んだ結果、児童の算数学習に対する意欲が向上してきていることが分かる。



2. 今後の課題＊ /

- (1) 少人数指導の工夫改善をさらに進め、必要に応じては1単元内でのコース移動や、T・T学習、一斉指導との併用など学習形態を工夫していく必要がある。評価についても、少人数指導教員間の共通理解を図る上で、「打ち合わせ」の時間をしっかり確保することが大切である。
- (2) 指導に生かす評価については、継続できる評価と次時への評価の生かし方について今後も研究を進める必要がある。
- (3) 算数科で育てたいコミュニケーションの能力について、児童の実態に合わせたより効果的な指導を工夫していく。

学力等把握のための学校としての取組

定期的な学力調査の実施(年1回)
 定期的な意識調査の実施(学期1回)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度第1回学力向上フロンティア事業研究指定校公開授業

- ・ 実施日 平成15年6月20日(金)
- ・ 場 所 八幡浜市立千丈小学校
- ・ テーマ 自分のめあてをもち、主体的に活動する児童の育成
 楽しさと充実感のある算数学習
- ・ 対 象 八幡浜管内全小中学校

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|--|--|--|----------|
| 【新規校・継続校】 | 1 5年度からの新規校 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 4年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | 6学級以下
1 3～1 8学級
2 5学級以上 | <input checked="" type="checkbox"/> 7～1 2学級
1 9～2 4学級 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導
一部教科担任制 | <input checked="" type="checkbox"/> T . Tによる指導
その他 | | |
| 【研究教科】 | 国語
生活
体育 | 社会
音楽
その他 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数
図画工作 | 理科
家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無 | |